



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月6日

上場会社名 ヒラキ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3059 URL http://company.hiraki.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 向畑 達也
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営戦略室長 (氏名) 姫尾 房寿 (TEL) (078) 967-4601
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月12日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績 (平成26年4月1日～平成26年12月31日) (百万円未満切捨て)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	13,653	△9.5	519	△23.3	436	△38.9	270	△32.9
26年3月期第3四半期	15,090	△7.7	677	3.7	713	24.5	403	13.0

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 521百万円 (138.9%) 26年3月期第3四半期 218百万円 (△61.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	55.44	—
26年3月期第3四半期	82.64	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	18,523	5,036	27.2
26年3月期	17,619	4,612	26.2

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 5,036百万円 26年3月期 4,612百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
27年3月期	—	10.00	—		
27年3月期(予想)				10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,000	△5.0	500	△35.5	400	△49.6	200	△48.9	40.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 ー 社 (社名) 、除外 ー 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

27年3月期3Q	5,155,600株	26年3月期	5,155,600株
27年3月期3Q	274,630株	26年3月期	274,630株
27年3月期3Q	4,880,970株	26年3月期3Q	4,880,987株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信 (添付資料) 4 ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成26年4月1日～平成26年12月31日)におけるわが国経済は、生産の持ち直しを主に引き続き緩やかな回復基調が続いている一方で、消費は依然弱含みに推移いたしました。ディスカунターとしての当社を取り巻く経済環境におきましても、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動、および一般消費者層の日常消費における節約志向が依然として根強く、回復力は鈍く推移しております。

このような環境のもと、当社グループは、強みである「靴」を中心とした「商品力の強化」、そして「商品力」を売上へとつなげる「現場力の強化」に継続して取り組み、事業展開を進めてまいりました。

通信販売事業におきましては、新しい取り組みとしてテレビCMを10月に福岡県・静岡県、11月に関西6府県で実施し、新規顧客の獲得に一定の成果を上げました。また、無料設置カタログ増設、通販WEBサイトの強化などの施策拡充によってヒラキの認知度向上を通じて新規顧客獲得に努めました。特に、通販WEBサイトに関しましては、WEB新規会員割引キャンペーン、まとめ買い商品の割引キャンペーン、情報メールの配信など、WEB機能を活かした取り組みを行い、WEBサイト経由の新規顧客獲得に努めました。従来のカatalog冊子に加えて、WEBサイトにも注力し、お客様に「驚き・楽しさ・満足感」を実感して頂ける通信販売の実現に取り組んでまいりました。

自社開発商品につきましては、トレンドのデザインとスウェット調素材を取り入れた『780円 ミッドカットスニーカー』は10月の販売開始から14万足を超えるヒットとなるほか、8月から販売開始している『780円 ソフトポアブーツ』は価格のお買い得感と追加の新色の効果もあり12万足を超えるヒットとなり好評をいただきました。いずれも価格を抑えながらそれ以上の満足感をお届けする商品を投入してまいりました。

ディスカウント事業におきましては、競合店との差別化を進めるために、靴を中心としたバラエティ・ディスカウント・ストアとして、岩岡店では「日本最大級の靴売場」、各支店では「圧倒的な地域一番の靴売場」を目指して取り組んでまいりました。圧倒的な安さを実現した自社開発商品の展開をさらに強化するとともに、定期的な『特価大商談会』の開催による特価商材の安定的な確保により収益力を強化してまいりました。また、岩岡店の大規模修繕を実施することによって、店舗設備の改善を図り、集客力の向上に取り組んでまいりました。

卸販売事業におきましては、靴販売店向けCatalog『大卸』、およびOEMによる大口先卸販売を収益の柱として引続き取り組んでまいりました。

このような取り組みにもかかわらず、主に、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動の影響と、引き続き地方を中心とした個人消費の低迷が影響し、当第3四半期連結累計期間における連結売上高は136億5千3百万円(前年同四半期比9.5%減)となりました。

利益面につきましては、通信販売事業を中心に更なるローコストオペレーションの実施、ディスカウント事業における自社開発商品、および仕入先施策の強化による粗利益率の改善が図られましたが、売上高の減少を補うまでにはならず、当第3四半期連結累計期間における営業利益は5億1千9百万円(前年同四半期比23.3%減)と減益の結果となりました。経常利益は、主にデリバティブ評価損益などの影響から4億3千6百万円(前年同四半期比38.9%減)、四半期純利益は2億7千万円(前年同四半期比32.9%減)となりました。

当社グループの報告セグメントの当第3四半期連結累計期間における業績は次のとおりであります。

① 通信販売事業

通信販売事業におきましては、テレビCMや無料設置Catalogの拡充などの効果により新規顧客数は伸ばしましたが、既存顧客からの受注の伸び悩みから売上高は70億2千2百万円(前年同四半期比10.0%減)となりました。利益面では、広告宣伝活動における効果的な媒体への絞り込み、さらに物流業務の効率化に引き続き取り組みましたが、売上高の落ち込みを補うまでには至らず、セグメント利益(営業利益)は8億3百万円(前年同四半期比13.4%減)となりました。

② ディスカウント事業

ディスカウント事業におきましては、自社開発商品のより一層の充実により、靴を中心とした一部の商品においては、売上の落ち込みを最小限にとどめることができましたが、消費税増税さらに個人消費の伸び悩みが大きく影響し、売上高は63億7千5百万円（前年同四半期比8.6%減）となりました。利益面では、仕入先施策の強化、自社開発商品の拡充などによる粗利益率の改善により、売上総利益の落ち込みを小幅に抑え、あわせて、作業効率化による人件費削減などに努めましたが、売上高の落ち込みを補うまでには至らず、さらに、当第2四半期連結累計期間に実施した大規模修繕に係る経費（96百万円）増から、セグメント利益（営業利益）は1千5百万円（前年同四半期比71.1%減）となりました。

③ 卸販売事業

卸販売事業におきましては、靴販売店向けカタログ『大卸』の売上高が増加する一方、大口OEM販売については、新規取引先を伸ばすものの既存取引先の取引が伸び悩み、売上高は2億5千5百万円（前年同四半期比19.5%減）、セグメント利益（営業利益）は1千2百万円（前年同四半期比40.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

（資産、負債および純資産の状況の分析）

① 資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べ、9億8千3百万円増加し、114億7百万円となりました。これは、現金及び預金が9億8千2百万円、商品が2億4千1百万円増加し、受取手形及び売掛金が4億9千8百万円減少したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ、7千9百万円減少し、71億1千6百万円となりました。これは、建物及び構築物が1億4千1百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ、9億4百万円増加し、185億2千3百万円となりました。

② 負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べ、4億5千4百万円減少し、44億1千4百万円となりました。これは、1年内返済予定の長期借入金が2億3百万円、買掛金が6千万円、未払法人税等が1億5千8百万円減少したこと等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ、9億3千4百万円増加し、90億7千2百万円となりました。これは、長期借入金が8億3千1百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ、4億8千万円増加し、134億8千7百万円となりました。

③ 純資産

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ、4億2千4百万円増加し、50億3千6百万円となりました。これは、繰延ヘッジ損益が2億4千4百万円増加したこと等によるものであります。自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ1.0ポイント増加し27.2%となりました。

（キャッシュ・フローの状況の分析）

当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）の残高は、「営業活動によるキャッシュ・フロー」および「財務活動によるキャッシュ・フロー」で得られた資金を、「投資活動によるキャッシュ・フロー」で使用した結果、前連結会計年度末に比べ4億1千8百万円減少し、24億3千万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各活動によるキャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、5億3千4百万円(前年同四半期は10億7千6百万円の獲得)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益4億3千6百万円の計上、売上債権の減少4億9千9百万円、たな卸資産の増加2億5千3百万円、仕入債務の減少6千1百万円、法人税等の支払額2億6千5百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、14億4千4百万円(前年同四半期は21億4千8百万円の使用)となりました。これは主に、定期預金の預入による支出29億円、定期預金の払戻による収入15億円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、4億9千万円(前年同四半期は16億9千1百万円の獲得)となりました。これは主に、長期借入による収入27億円、長期借入金の返済による支出20億7千2百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期業績予想に関しましては、平成26年11月7日に開示いたしました「業績予想と実績の差異および業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,349,962	5,332,093
受取手形及び売掛金	1,353,240	854,290
商品	4,265,567	4,506,996
未着商品	71,173	85,666
貯蔵品	18,049	15,183
繰延税金資産	129,888	-
その他	260,341	628,423
貸倒引当金	△24,243	△15,494
流動資産合計	10,423,979	11,407,159
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,505,759	3,364,247
土地	3,258,299	3,258,299
その他(純額)	176,562	239,067
有形固定資産合計	6,940,621	6,861,614
無形固定資産	95,970	81,225
投資その他の資産	158,772	173,487
固定資産合計	7,195,364	7,116,328
資産合計	17,619,344	18,523,487
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,071,053	1,010,116
1年内返済予定の長期借入金	2,460,644	2,257,502
未払法人税等	265,474	106,854
繰延税金負債	-	68,445
賞与引当金	154,699	83,388
役員賞与引当金	-	4,275
ポイント引当金	35,130	30,104
その他	881,313	853,470
流動負債合計	4,868,314	4,414,157
固定負債		
長期借入金	7,778,368	8,609,408
退職給付に係る負債	105,790	116,538
環境対策引当金	13,568	13,568
資産除去債務	30,376	30,789
その他	210,614	302,635
固定負債合計	8,138,718	9,072,939
負債合計	13,007,033	13,487,096

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	450,452	450,452
資本剰余金	1,148,990	1,148,990
利益剰余金	3,052,106	3,225,098
自己株式	△143,570	△143,570
株主資本合計	4,507,978	4,680,970
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,238	11,710
繰延ヘッジ損益	80,911	324,984
為替換算調整勘定	18,183	18,726
その他の包括利益累計額合計	104,332	355,420
純資産合計	4,612,311	5,036,390
負債純資産合計	17,619,344	18,523,487

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	15,090,877	13,653,164
売上原価	8,773,039	7,761,059
売上総利益	6,317,837	5,892,105
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費及び販売促進費	1,711,883	1,630,727
貸倒引当金繰入額	13,681	4,604
ポイント引当金繰入額	35,666	28,867
給料手当及び賞与	1,663,668	1,545,822
賞与引当金繰入額	86,355	83,388
その他	2,129,292	2,079,262
販売費及び一般管理費合計	5,640,547	5,372,672
営業利益	677,289	519,432
営業外収益		
受取利息	3,942	4,986
受取配当金	1,058	1,360
為替差益	74,907	13,217
その他	58,051	28,757
営業外収益合計	137,959	48,321
営業外費用		
支払利息	95,203	89,817
デリバティブ評価損	—	35,425
その他	6,194	6,010
営業外費用合計	101,398	131,253
経常利益	713,851	436,501
特別損失		
固定資産売却損	26	—
減損損失	40,476	—
特別損失合計	40,503	—
税金等調整前四半期純利益	673,348	436,501
法人税、住民税及び事業税	236,256	111,171
法人税等調整額	33,738	54,718
法人税等合計	269,994	165,890
少数株主損益調整前四半期純利益	403,353	270,611
四半期純利益	403,353	270,611

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	403,353	270,611
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	539	6,472
繰延ヘッジ損益	△193,969	244,072
為替換算調整勘定	8,414	542
その他の包括利益合計	△185,014	251,087
四半期包括利益	218,338	521,699
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	218,338	521,699
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	673,348	436,501
減価償却費	238,394	234,038
貸倒引当金の増減額(△は減少)	161	△8,753
賞与引当金の増減額(△は減少)	△72,463	△71,311
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	5,718	4,275
ポイント引当金の増減額(△は減少)	651	△5,025
退職給付引当金の増減額(△は減少)	10,689	-
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	-	10,747
受取利息及び受取配当金	△5,000	△6,346
支払利息	95,203	89,817
為替差損益(△は益)	△26,154	-
減損損失	40,476	-
売上債権の増減額(△は増加)	130,960	499,072
たな卸資産の増減額(△は増加)	185,440	△253,055
仕入債務の増減額(△は減少)	150,620	△61,990
その他	1,669	15,024
小計	1,429,716	882,993
利息及び配当金の受取額	4,462	6,301
利息の支払額	△96,134	△90,123
法人税等の支払額	△261,493	△265,112
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,076,551	534,058
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△2,120,400	△2,900,900
定期預金の払戻による収入	3,100	1,500,000
有形固定資産の取得による支出	△25,228	△36,058
無形固定資産の取得による支出	△4,971	△6,135
投資有価証券の取得による支出	△2,165	△2,275
その他	1,508	973
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,148,157	△1,444,396
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	3,700,000	2,700,000
長期借入金の返済による支出	△1,883,741	△2,072,102
自己株式の取得による支出	△18	-
配当金の支払額	△97,313	△97,173
その他	△27,711	△39,731
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,691,215	490,992
現金及び現金同等物に係る換算差額	32,527	576
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	652,137	△418,768
現金及び現金同等物の期首残高	2,339,705	2,849,262
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,991,843	2,430,493

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I. 前第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額(注1)	四半期連結損益計算書計上額(注2)
	通信販売事業	ディスカウント事業	卸販売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,800,205	6,972,698	317,972	15,090,877	—	15,090,877
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	7,800,205	6,972,698	317,972	15,090,877	—	15,090,877
セグメント利益	927,211	54,298	20,960	1,002,470	△325,180	677,289

(注) 1 セグメント利益の調整額△325,180千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に現業支援本部等管理部門に係る一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II. 当第3四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額(注1)	四半期連結損益計算書計上額(注2)
	通信販売事業	ディスカウント事業	卸販売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,022,164	6,375,155	255,844	13,653,164	—	13,653,164
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	7,022,164	6,375,155	255,844	13,653,164	—	13,653,164
セグメント利益	803,297	15,696	12,547	831,540	△312,108	519,432

(注) 1 セグメント利益の調整額△312,108千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に現業支援本部等管理部門に係る一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。